

コンクリート技士 演習問題

(コンクリート技士試験 完全攻略問題集 2010 年版 より)

舗装コンクリート

舗装コンクリートに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) A Eコンクリートはすり減り抵抗性が小さいので、舗装コンクリートには用いられない。
- (2) 舗装版の表面は、車両などのすべりの防止、光線の反射の緩和などを目的として粗面に仕上げる。
- (3) 転圧コンクリートの乾燥収縮は、通常の舗装コンクリートに比べて小さいので、収縮目地の間隔を長くできる。
- (4) 転圧コンクリート舗装は、アスファルトコンクリート舗装と同様な施工機械を用いて舗設される。

正解 (1)

・良好なワーカビリティと耐久性を確保するため、舗装コンクリートはA Eコンクリートを用いることを原則とすることが、コンクリート示方書舗装編に規定されている。一般的には締固め後の空気量は4・5%が標準であるが、必要に応じて4~7%の範囲で空気量を定める。なお、過剰な空気量は、耐久性の向上が図れないばかりか、強度の低下を招く。